

▼注射用サイメリン [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ラニムスチン ranimustine (MCNU) 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [ニトロソウレア類]

【単位】 ▼50mg・▼100mg/V

【常用量】 1回 50～90mg/m² を 6～8 週間毎に投与 ■ALT に対して他の抗悪性腫瘍剤と本剤を併用する場合は、投与間隔は 4 週間以上

【用法】 点滴静注もしくはゆっくり静注 ■生食または 5%ブドウ糖注射液 100～250mL に溶解し点滴静注、または 10～20mL に溶解し静注

【透析患者への投与方法】 腎障害患者では副作用が強く発現するおそれがあり慎重投与 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎障害患者では副作用が強く発現するおそれがあり慎重投与 (1)

【特徴】 水溶性ニトロソウレア剤の Streptozotocin 誘導体のアルキル化剤。

【主な副作用・毒性】 骨髄抑制、間質性肺炎、腎機能障害、肝機能障害、消化器症状、発疹、倦怠感、頭重、発熱、めまいなど

【tmax】 150mg を iv 後の Cmax 9.1 μg/mL (1)

【代謝】 代謝物に活性はない (1)

【排泄】 尿中回収率 72% [iv, 96hr まで] (1)

【t1/2】 α相 4.4min, β相 41min (1) 40～45min (Kanamaru A, et al: Gan To Kagaku Ryoho 10: 1831-7, 1983)

【蛋白結合率】 濃度と逆相関し 10～60% (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 327.72

【透析性】 資料なし (1)

【O/W 係数】 LogP=-0.71 [1-オクタノール/水系] (1) 【薬物動態】 2 相性に消失 (1)

【相互作用】 骨髄抑制の相互増強に注意 (1)

【更新日】 20170727

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。